



りんごとさくらのコンサート・日本とチェコの音楽の出会い



"Jablůčko a sakura" Česko - japonský hudební spolek
pořádá koncert k počtě pana Dr. Hideo Sekine (1929 - 2017),
překladaatele a vášnivého propagátora české hudby a kultury v Japonsku



チェコ文化研究家、音楽評論家

故・関根 日出男先生

(せきね ひでお 1929年1月-2017年1月18日)

一周忌・追悼演奏会

受け継ぎ、伝えたい ～関根 日出男先生のチェコ文化への敬愛、情熱、その遺志～



1985年 モラヴィアのヴルチノフの民族祭「王様の騎行」関根日出男先生撮影

●ヤナーチェク ピアノソナタ 1905年10月1日 路上にて L. Janáček :
Sonáta 1. X. 1905 "Z ulice" (A. Naito Pf) ●竹花加奈子『径(みち)』～
関根日出男先生の思い出 追悼曲 オリジナル作品 K. Takehana : "Cesta"
vzpomínka na pana Dr. Hideo Sekine (K. Takehana Vc /K. Miyoshi
Pf) ●ドヴォジャーク 歌劇『ルサルカ』よりアリア「月に寄せる歌」ほか A.
Dvořák : "Měsíčku na nebi hlubokém" (S. Hiraiwa Sop/Y. Sawa Pf)
●フィビヒ「気分、印象と思い出」より 詩曲 ほか Z. Fibich : Poemze sbírky
"Nálady, dojmy a upomínky" (I. Shimura Pf) ●マルティヌー チェロソナ
タ 第3番より B. Martinů : Sonáta č. 3 pro violoncello a klavír, I (N.
Sekine Vc/Y. Sawa Pf) ●トゥチャプスキー5つの四句節モテット(無伴奏
混声 合唱曲) A. Tučapský : Pět postních motet (Sbor "Wadachi"/ T.
Nakamura cond) ●マルティヌー ピアノソナタ 全楽章 B. Martinů :
Sonáta pro klavír (L. Šabaka Pf)

2018 **2/6** [火]

開場 18:30 開演 19:00

《会場》渋谷 伝承ホール

《料金》全席自由:3,500円
(ペア券6,000円)

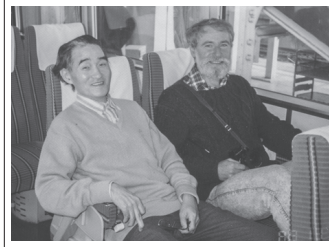
故 関根 日出男 (1929-2017.1.18) チェコ文化研究家・翻訳家・チェコ音楽評論家・耳鼻咽喉科医師

長野県生まれ。旧制松本医学専門学校(信州大学医学部)卒。1959年北海道大学医学博士。東京都内に耳鼻科医院を開業、同院長を長く勤めた。1959年からチェコ音楽を研究。1990年にチェコの前衛的なクラシック音楽を研究、演奏する音楽団体「日本マルチヌー協会」を創設し会長を務め、また1998年からは日本ヤナーチェク友の会の顧問を務める。日本とチェコの音楽分野の紹介に貢献したとして、1990年プラハのマルチヌー財団、また2004年レオシュ・ヤナーチェク財団より感謝のメダルを授与され、2009年11月には「チェコ芸術の友賞」をチェコ政府より授与された。

1985年、チェコのノーベル賞作家、詩人ヤロスラフ・サイフェルト氏と。この後、サイフェルトの自伝的書籍集「この世の美しきものすべて」を翻訳・刊行



1985年、モラヴィアのヴルチノフの伝統的なフォークロアの祭りにて「王様の騎行」のイベントに参加。



1989年、日本アルプスへの旅。同伴者は長年の友人で、2017年に天皇陛下より旭日双光章を授与された写真家・ズデニェク・トーマ氏。



2009年、在日チェコ共和国大使館にてチェコ政府より「チェコ芸術の友賞」が贈られる。関根日出男先生と、文化省リードバルパオホ氏。

"Odchodem Dr. Hideo Sekine jsme ztratili nejvýznamnějšího propagátora české hudby a české kultury v Japonsku. Cest jeho památce!"

関根日出男先生が亡くなって、私たちは日本における、チェコ音楽とチェコ文化の最も有名なプロモーターを失ってしまいました。先生の記憶に敬意を表します!

Aleš Březina / アレシ・ブジェジナ
Board International Martin / 国際マルチヌー・サークル会長

関根日出男先生の主な翻訳作品

クンデラ「冗談」
(みすず書房 1970, 92年中村 猛共訳)
ブリアン「ドヴォルジャークの生涯」
(新時代社 1983年)
ヴェーニグ「プラハ音楽散歩」
(晶文社 1989年)
サイフェルト「この世の美しきものすべて」
(恒文社 1998年 飯島 周共訳)

スメタナ『売られた花嫁』『秘密』『ヴィオラ』
ドヴォルジャーク『ディミトリ』
『悪魔とカーチャ』『ルサルカ』
マルティヌー『マリアの奇蹟』
『ギリシアの受難劇』
ヤナーチェク『イェヌーファ』他、全9作品



関根日出男先生の遺稿
ドヴォルジャーク
歌劇「ルサルカ」対訳と解説
2017年11月初版刊行
日本ヤナーチェク友の会編
お問い合わせ
日本ヤナーチェク友の会 検索

《出演者プロフィール》

志村 泉 (Shimura Izumi ピアノ)
東京芸術大学附属音楽高等学校、同音楽学部、同大学院を卒業。松原緑、伊達純、M.ムツツの諸氏に師事。在学中にクロイツァー賞受賞。1979年のデビューリサイタル以後、バロックから現代までの幅広い作品で数多くのリサイタル、また独自のコンサートシリーズも続けている。チェコをはじめ海外での演奏も多い。「中島健蔵賞」を受賞。

ルデック・シャバカ (Luděk Šabaka ピアノ)
幼少より、チェコスロヴァキアの代表的なピアノコンクールのほとんどに優勝を果たし、「プラハの春国際音楽祭」にも出演した。プラハ芸術アカデミーにて室内楽の研鑽をつみ、著名な演奏家と共演の機会を多数重ねる。現在ビルゼン音楽院ピアノ科主任教授。才能ある子供たちのための音楽学校の校長も務める。B.マルティヌーのピアノ曲を全曲演奏しており、国内外で演奏している。近年は毎年日本に招かれ、各地で演奏会、ピアノレッスンを行っている。

中村敏彦 (Toshihiko Nakamura 指揮)
東京音楽大学作曲科を経て、ピアノ科を卒業。旧チェコスロヴァキア政府給費留学生としてプラハ芸術アカデミーに留学、ピアノを故ヤン・パネンカ氏に師事。プラハの「芸術家の家」でリサイタルを行う他、チェコスロヴァキア各地で数多くの演奏会に出演。帰国後も継続してリサイタルを催し好評を得る。現在、ソリスト、室内楽奏者、合唱指揮者として幅広く演奏活動を行っている。2012年、同合唱団の指揮者・指導者に就任。

内藤 晃 (Akira Naito ピアノ)
東京外国語大学卒業。ピアニスト・指揮者・作編曲家として多彩な活動を展開。主宰ユニット「おんがくしつりオ」では教育楽器による上質なアレンジが話題となり、全国的に公演やワークショップを行う。月刊「音楽現代」にて「名曲の向こう側」を連載するほか、校訂楽譜多数。一流ソリストや作曲家の信頼も厚い。ピアノを城田英子、広瀬宣行、川上昌裕、V.トイフルマイヤーの各氏らに、指揮を紙谷一衛、L.グリーン、曾我大介の各氏に師事。

沢 由紀子 (Yukiko Sawa ピアノ)
武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。旧チェコスロヴァキア政府給費留学生としてプラハ芸術アカデミーに留学、故J.バーレーニ

チェクに師事。ヤナーチェク生誕150周年記念リサイタルなど、チェコ音楽を中心に活動。2005年より日本とチェコの友好コンサートとして「小さなりんご校」プロジェクトを続ける。チェコ共和国の各地でほぼ毎年演奏している。2017年3月、プラハ、他チェコの国内で演奏。現在、聖徳大学講師。

平岩佐和子 (Sawako Hiraiwa ソプラノ)
東京芸術大学音楽学部声楽科卒、同大学院修士課程修了。1996年～2008年、ダンスや演劇の作品の中で、音楽演奏・声楽家・パフォーマーなどをつとめ、マレーシア、フランス、香港、マカオ、シンガポール、韓国、モルドヴァ共和国、ルーマニア、フィリピン、東京で公演、好評を得る。芝居の音楽作曲や合唱劇の演出など幅広く活動している。

竹花加奈子 (Kanako Takehana チェロ/作曲)
チェロ・ピアノ・作曲を行き来しながら演奏家/作曲家として独自の世界を創り上げている。桐朋学園大学卒業。バルセロナでL.クラレット、ブラードでB.グリーンハウス各氏に師事。また、フランスの文化財団の奨学金を得てA・ビルスマ氏のマスタークラス受講。現在、演奏家、作曲家としてとして各地でのコンサートやラジオ・各種メディアに登場。これまでに7枚のアルバムを発表。最新アルバム「ジャポニズムII」はレコード芸術誌の準推薦盤に選ばれた。

三好恭子 (Kyoko Miyoshi ピアノ)
桐朋学園音楽大学ピアノ科卒業。チェコ政府給費留学生として、プラハ音楽院に留学。1998年B.マルティヌーコンクールピアノ三重奏部門において審査員特別賞受賞。プラハ及びチェコ各地にてコンサートに出演。帰国後はソロ、室内楽、伴奏など演奏活動を行っている。2000年より東京にて7回リサイタルを開催。2017年5～6月にはチェコ各地にてコンサートに出演し、好評を博す。日本ドイツリット協会会員。

関根のぞみ (Nozomi Sekine チェロ)
愛知県立芸術大学卒業。在学中、学内選抜オーディションにより大学主催の「室内楽の夕べ」に出演。第三回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第三位。第18回プラハサマーアカデミーにおいてM・カニユカ氏のマスタークラスを受講。ファイナルコンサートに出演。これまでに、天野武子、松波恵子、野村友紀の各氏に師事。2017年10月よりプラハ芸術アカデミーに進学中。

合唱団「わだち」
1967年、故諸井昭二により創設。1973年よりチェコおよびス

ロヴァキアの合唱曲の本邦初演を続ける。1974年にスメタナ・メダルを受賞。1979年に指揮者諸井昭二がヤナーチェク・メダルを受賞。1983年に当時のチェコスロヴァキア政府招待で同国への演奏旅行が実現。以来、プラハ混声合唱団などと友好交流を続けるようになった。2012年、代表者の諸井昭二が急逝したが、中村敏彦、渡辺治子を指導者として活動を継続している。



渋谷区文化総合センター大和田 伝承ホール(6階)
渋谷区桜丘町23-21
《交通のご案内》●渋谷駅から徒歩5分 ●ハチ公バス(恵比寿・代官山循環タヤげこやけルート) [4-3] [31-2]「文化総合センター大和田」下車
公共の交通機関をご利用下さい